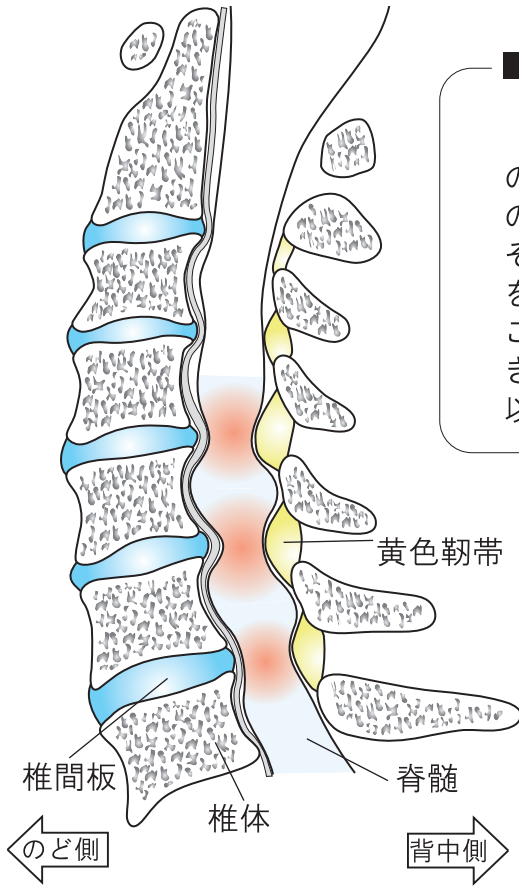


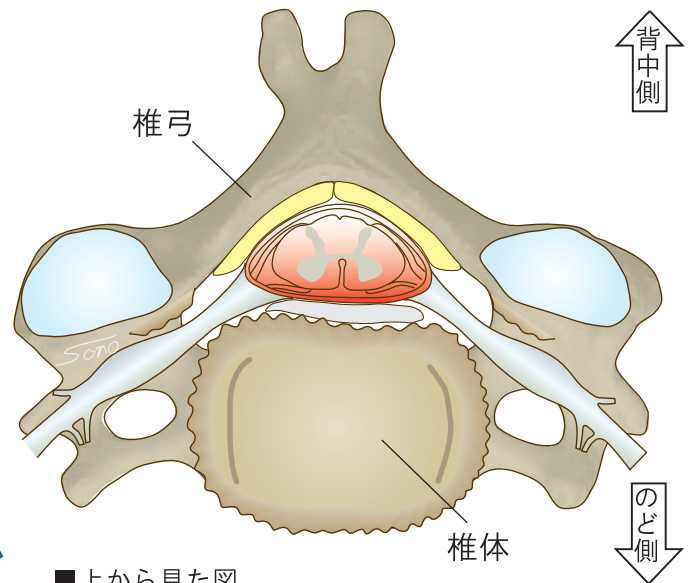
頸椎椎弓形成術（縦割法）

■手術の概要

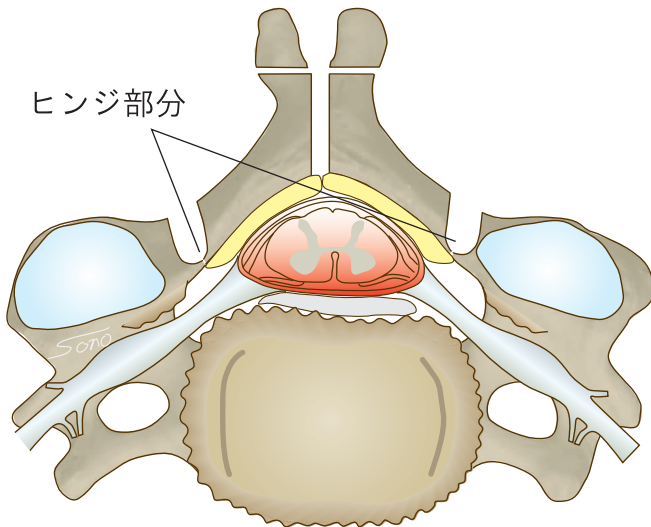
脊髄は、椎体や椎弓と呼ばれる骨の部分に囲まれた脊柱管の中をとっています。しかし、加齢に伴う変形等によりこの脊柱管が狭くなると、脊髄が圧迫されることとなります。そこで椎弓という骨の部分を扉のように開いて、脊髄の圧迫を取り除きます。この手術は椎弓形成術と呼ばれ、1枚の扉を開くような片開き式と2枚の扉を観音開きするような縦割法があります。以下に縦割法の概要を図示します。



■横から見た断面図



■上から見た図



首の後ろより入り、椎弓を開くためのカットとヒンジ部分となる溝を作成する。

椎弓を左右に開き、その間にチタン製のプレートで固定する。

